

「アクティブ・ラーニング」の指導方法についてのアンケートに関する結果報告



先日は「アクティブ・ラーニング」の指導方法についてのアンケートにご協力いただき、まことにありがとうございました。その集計ができましたので、ご報告いたします。

1. 概要

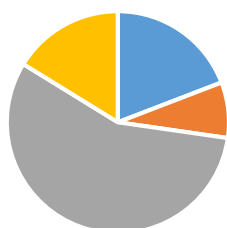
ご回答総数 436校 (2016年11月4日～2017年3月7日まで集計)

都道府県別上位5県 東京都(78校), 茨城県(34校), 北海道(26校), 京都府(16校), 広島県(16校)

普通科 373校 普通科以外の高校 63校

2. アクティブ・ラーニングについて【単純集計】

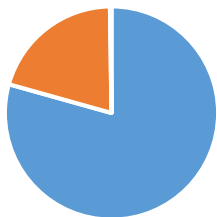
a) 「アクティブ・ラーニング」を既に指導に取り入れていますか。



- 学校全体で取り組んでいる
- 教科として取り組んでいる
- 個人で取り組んでいる
- 取り組んでいない

「個人で取り組んでいる」が 56.5%、「学校全体で取り組んでいる」が 19.2%、「取り組んでいない」が 16.2%という順でした。

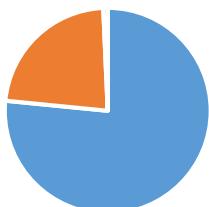
b) 「アクティブ・ラーニング」は生徒の学力向上に効果的な学習方法であると思われますか。



- あてはまる
- どちらでもない
- あてはまらない

「あてはまる」が 79.4%、「どちらでもない」が 20.4%と、**効果的な学習方法であるという認識の回答が約80%ありました。**

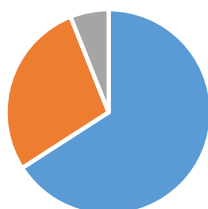
c) 「アクティブ・ラーニング」は積極的に取り組むべき学習方法であると思われますか。



- あてはまる
- どちらでもない

「あてはまる」が 76.6%、「どちらでもない」が 22.7%と、**積極的に取り組むべき学習方法であるという認識の回答が約77%ありました。**

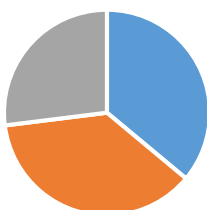
d) 「アクティブ・ラーニング」は準備などで教員の負担が増えそうであると思われますか。



- あてはまる
- どちらでもない
- あてはまらない

「あてはまる」が 65.9%、「どちらでもない」が 28.1%と、**負担が増えるという認識の回答が約66%ありました。**

e) 「アクティブ・ラーニング」は授業のスタイルを変えることになり不安だと思われますか。

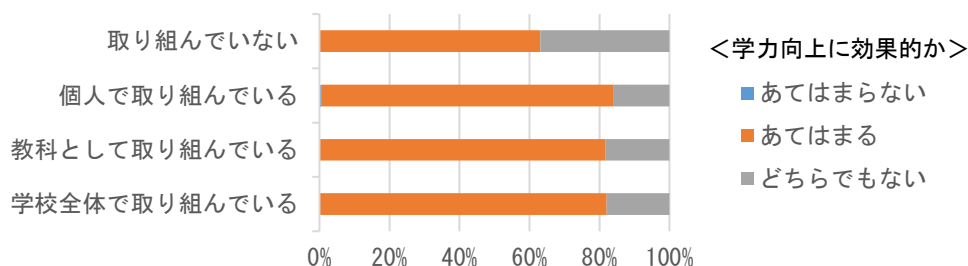


- あてはまる
- どちらでもない
- あてはまらない

「あてはまる」が 36%、「どちらでもない」が 37%、「あてはまらない」が 27%と、**不安に思うという認識の回答が36%ありました。**

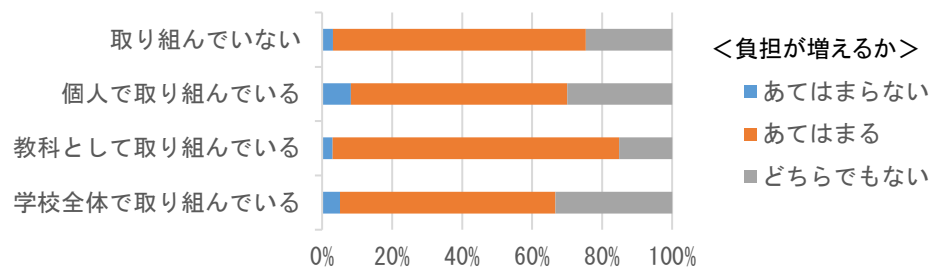
3. アクティブ・ラーニングについて【クロス集計】

a) 「アクティブ・ラーニング」の取り組み状況別、生徒の学力向上に効果的な学習法であるかどうかについて



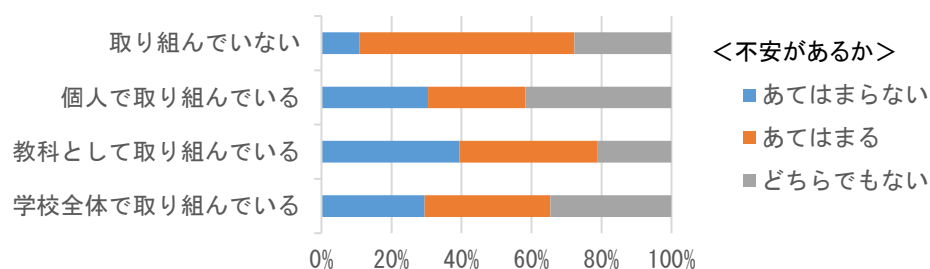
「アクティブ・ラーニング」に取り組んでいない場合でも、生徒の学力向上に効果的な学習方法であると思われるという回答が60%以上ありました。

b) 「アクティブ・ラーニング」の取り組み状況別、準備などで先生の負担が増えるかどうかについて



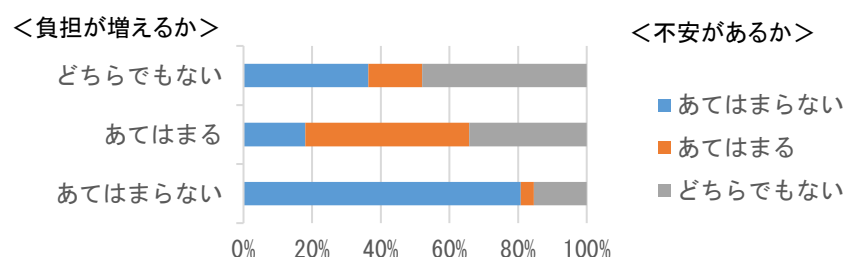
「アクティブ・ラーニング」に学校全体で取り組んでいる場合でも、準備などで負担が増えると思われるという回答が60%以上ありました。

c) 「アクティブ・ラーニング」の取り組み状況別、授業のスタイルを変えることになり不安であるかどうかについて



「アクティブ・ラーニング」に取り組んでいない場合は、不安に思うという回答が60%程度ありましたが、取り組んでいる場合は、不安に思うという回答と不安に思わないという回答がほぼ同数でした。

d) 「アクティブ・ラーニング」の準備などで教員の負担が増えるかどうか別、授業のスタイルを変えることになり不安であるかどうかについて



「アクティブ・ラーニング」の準備を負担に感じない場合は、不安に思うという回答はほとんどありませんが、負担に感じる場合は、不安に思うという回答が50%近くありました。

4. 「アクティブ・ラーニング」の授業や教材に対するご意見

- ・教材に頼らず指導しているが、教員側の準備や共有に時間がかかることを不安に思う。(13件)
- ・生徒の主体的な学びを引き出すようなテーマや課題設定が難しく、表面的な授業になってしまっている。(9件)
- ・適当な教材があれば負担も減るし、指導を統一できると考えている。(18件)

このように、いろいろと悩まれている様子が数多く見受けられました。

以上